

令和5年度 第2回種子島地区自立支援協議会 議事録 要約

日時 令和5年11月21日

午前10時00分～11時30分

場所 中種子町中央公民館 大ホール

◆ はたらく部会 (本年度より 相談支援センターあかつき)

- お仕事ファイルの修正について確認し、アンケートを実施し、回収を終えている。
- 広報チラシ働くって楽しい発行に向けて、今年度のテーマを企業からの視点について提案し決定していく。
- 就労支援事業所の商品紹介、依頼作業等をパンフレットにすることについて提案し、各事業所の意見をいただく。来年度発行にむけて準備をしていく。
- ピア会 10月23日月曜日 中種町の龍星館2階にて開催した。
ピアサポーターの体験経験を伝えた後で仕事をする上で大切にしていること、ストレス発散法、将来の夢などについて意見交換を行った。
- 新規事業所紹介 AZ 就労継続支援B型事業所 (シイタケ栽培)
サンクスラボ 就労A就労継続支援B型事業所在

◆ くらし部会 (本年度より 障害者支援センターこすも)

- 第2回目は研修会 (例年世話人研修会のグループディスカッションが難しく研修会に振替)
- 第3回はヘルパーの不足による事業所の負担の現状把握とアンケート調査予定。福祉サービスが入れない部分の地域資源発掘、民生委員との関わり、地域の取り組み等の話を聞きたい。
- 障害者ヘルパー事業所の数が4ヶ所まで減って、ヘルパーを探すのが人材不足で非常に困難。
- 世話人も不足。世話人を支援員として活用という国の政策は、現状では難しい状況。

◆ こども部会 (本年度より 社会福祉法人豊山会たちはな園)

- よろ～てファイルの継続的な活用についてのアンケート調査の結果、ファイルを所持しても活用できていない現状がある。近日中に啓発のためのポスターを作成し、配布する。
- 医療的ケア児等の支援体制構築のためのワーキンググループから「障害福祉では福祉用品の貸与の仕組みがない、病院以外の日中の受け入れ先がない、特別支援学校卒業後の受け入れ先がない、就学中の必要な支援の変化どう対応していくか協議の必要性がある」と報告あり。来年度は各市町にコーディネーターを設置し、教育委員会、訪問看護等も含め対応を協議していく。
- 障害歯科について、モグモグ外来は設置できなかった経緯あり。治療で上鹿する際の移動費補助に関しては次回の部会で回答をもらう。
- 児童保護者から発達ゆったりの親子向けの祭りがあったら嬉しい、という要望あり。

- **特別支援学校 真下校長)** 保護者アンケートより、地域との交流を増やしたい。(住んでいる地域の入学式に参加する等) 鹿児島県で、ろう学校に通いながら毎週水曜は地域で保育をうけるという実績あり。障害年金の申請をする際に、よろ～てファイルに通知表も綴じて活用した。
- 医療的ケア児に関しては、県で訪問看護ステーションから看護師等を派遣して学習に参加するなどの取り組みが実施されている他、日置市で年間 48 時間、看護師を自宅に派遣する費用を助成する制度があるようだ。医療的ケア児の就労に向け、色々な形を進路担当と確認し、母子だけで過ごすことがないように考えている。
- **訪問看護ステーションことは 村田)** 訪問看護師の派遣で許可されているのが、今のところ学校に限定されている。医療保険を使っての看護師の派遣は学校との契約で、自費であればある程度融通がつけられる。今現在はほぼボランティア状態。訪問看護の利用を行政で補助してもらいながら継続していくということは可能だと思います。
- **相談支援部会(本年度より 相談支援センターねいろう 24)**
- 相談支援部会は毎月原則第 2 水曜日に行っていて、医療的ケア事業支援体制構築のためのワーキンググループを実施している。現在、中種子町と南種子町に医療的ケアの必要なお子さんがいる。
- **会長)** 日本知的障害福祉協会の会合で、相談支援専門員の経費について、処遇改善の費用を上げてほしいと厚労省に要望し、加算として付けていくと回答あり。
- ◆ **権利擁護部会（基幹相談支援センター）**
- 本年度は、まだ講習会等の開講案はでていない状況だが、合理的配慮の問題などの啓もう活動が必要と感じている。各福祉事業所が合理的配慮、支援というところを求められた時に、共に検討し応えていく義務があるという認識が必要。
- 成年後見制度についてもまず初めに誰へ相談したらいいのかがわからないなどの意見がある。
- **西之表市 上妻)** 成年後見制度の問い合わせ窓口についての質問に対して
現在、成年後見の窓口としては、中核機関が福祉事務所の方に設置されていて、高齢者支援課の方には高齢者の方の窓口、社会福祉係の方に障害者の窓口という形になっている。制度自体難しいため、もう少し周知も必要を感じている。
- **中種子町 梶原)** 成年後見制度に関して、障害の福祉窓口での相談は無かった。それ以外で、3 年前精神疾患のある方の申請申し立てを中種子町長名でしてほしいと病院から依頼を受けたことがあった。
- **南種子町)** 南種子も同様に窓口での成年後見に係る相談は一件もない。

- ◆ 会長) 喀痰吸引の研修の要望が、3、4年前から自立支援協議会でもでている。喀痰吸引を不特定多数に行える第一号研修、第二号研修はハードルが高い（研修時間研修費）ので、特定の人に喀痰吸引ができる第三号研修を、障害分野だけではなく養護老人ホームなどでも、要望があれば、10人前後でも人数をそろえて種子島で実施できるよう求めていきたい。
- 訪問看護ステーションことは 村田) ALS協会の里中さんの方へ直接依頼して西之表で数年前から数回開催されている。

- ◆ 会長) ハローワークの方に人材のこと種子島の現状報告を求める
ハローワーク 田中) 人材不足で、事業所の方からは求人が多い一方、求職者は少なく紹介できない状況。賃金面の好待遇などがあると良い。
- ◆ 会長) 介護施設、福祉施設でロボット導入の場合に人材配置のロボットは加算されるか？
- 県の担当者) そういったことは聞いたことはない。
- ◆ 会長) 10月の赤平さんの研修会を受けて
障害をもったお子さんの親御さんのように、サポートする私達も、自分のことのように必死に考えて、障害者の方々が生きやすい環境をサポートしていきたい。皆さんにもそういうことを思って頂けたら有難い。

次回 第3回 種子島地区自立支援協議会 3月12日 予定